

防災 香久山自主防災通信

発行 / 香久山区自主防災会 平成24年9月

第4号



防災の日〈9月1日〉

「防災の日」は、1923年(大正12年)の9月1日に起きた「関東大震災の教訓を忘れない」という

意味と、この時期に多い、台風への心構えの意味も含めて、1960年(昭和35年)に制定されたものです。

さて、東日本大震災から1年半。被災地では、現在もなお大変な思いをされている方、悔やんでも悔やみきれないという方が大勢いらっしゃいます。その経験を過去のものにならないためにも、

出かける時も常に持っていたい、小さな防災グッズはコレ！

まずは (・ホイッスル(笛) それから、携帯電話
 ・LED小型ライト

※参考



ホイッスル(笛)やLED小型ライトは防犯グッズとしても有名ですが、実際にどこかに閉じ込められてしまった時など、自分の居場所を周囲に伝えるのに大変重宝します。また、大地震ばかりか落雷などで夜に停電してしまうと、身動きが取れなくなり、動く危険です。軽くて小さくても明るいLED小型ライトも必需品と言えますね。

他にも、現金や免許証、大判ハンカチ、絆創膏など、持っているの良いものを各自で考えて、無理のない範囲で持つようにしましょう。

もちろん、もしものための避難場所や、家族との連絡方法の再確認を忘れずに！



災害用マンホールトイレ 《洋式タイプ》

折りたたみ式で、薄くコンパクトに収納でき、組み立ても簡単な、洋式タイプのマンホールトイレ。

香久山区ウォークラリーにて 防災関連の展示を行いました。

- 軽量なので、設置場所への持ち運びが楽。
 - 工具なしで簡単に組み立てられる。
 - 組立て時間は約3分。
 - 立ち座りをサポートする手すり付き。
 - 座面の高さが調節でき子供やお年寄り用には低くトイレを設営できる。
- という特長があります。



炊き出し用の釜

一度にたくさんのごはんが炊ける、炊き出し用のお釜。行事で時々使用しています。

北部浄化センター北広場の 防災設備をご存知ですか？

防災パーゴラ

防災パーゴラ。非常時は、シートをかけて使用する。



かまどベンチ



かまどベンチ。下からのぞくと、五徳になる部分が見える。



香久山調整池

香久山の調整池は、大雨の際に不可欠です。これまでも何度も助けられています。テニスコートも、調整池の一部なんですね。



調整池も、大切な防災設備です。

防災東屋



防災東屋。普段は公園の東屋だが、非常時には、屋根の内側に付けられているテント様のシートを下ろすと、部屋が出来上がる。着替えなどにも利用可。

香久山区自主防災会 防災会議 報告

平成24年6月17日(日) 第11回香久山区自主防災会議を開催。参加者54名。

・昨年度の決算報告、本年度の活動計画案、予算案などを審議。

・質疑応答 Q:常備の救急医薬品、内容は? →A:マキュロンなど、家庭で常備するようなもの。

Q:班員を100名ほどまで増やす方法を検討すべき。 →A:昨年、地区自治会の組長さんに要請した結果、6名ほど残って頂けた。地区自治会長さんに組長さんによく要請して頂きたい。

Q:地区防災倉庫がへこんだりしているが、修繕は? →A:ひだまり公園、こもれび公園の防災倉庫が、子供のいたずら等でへこんだり破損していたので応急補修した。

●自主防災会の詳しい活動状況は、香久山自治会ホームページからご覧いただけます。
<http://www.md.ccnw.ne.jp/kaguyamazichikai/index.html>